

事例31 土地改良区を単位とした大規模集落協定の実施

倉石村 東部地区・西部地区

協定面積 田306ha 協定参加者 602人

- 当集落では、水系を同じにする土地改良区を単位に協定を締結しました。
土地改良区に事務を委託したことで、会計事務の繁雑さから解放されたほか、共同活動の際には連絡体制ができているため効率的であり、農道・水路整備を行う場合も同意が得やすくなるなどの利点があります。また、協定農用地所有者以外の人でも共同活動に参加しやすくなり、不公平感がなくなります。
- これまでも、コンクリートむき出しの幹線水路や堰堤が殺風景な感じを与えていたことが問題となっていました。多面的機能増進活動でその周辺に花を植栽することにしました。
また、集落の伝統文化である「駒踊り」の継承活動にも使用しました。今後も集落の核となる活動を大事にしていきたいと考えています。



伝統文化「駒踊り」